

■行政提案型市民協働事業<平成 30 年度テーマ（案）>

	テーマ（事業名）： 子ども向け平和祈念事業案内リーフレットの作成	担当部署： 企画財政部政策室
【現状と課題】 <ul style="list-style-type: none"> 市では、毎年平和祈念事業実行委員会とともに「5月 25 日みんなで輪をつくろう」を平和祈念事業の一つとして実施している。その際、昭和 20 年 5 月 25 日に狛江国民学校へ空襲があったことを周知するための簡単なリーフレットを配布しているが、内容は「狛江・語り継ぐ戦争体験」から抜粋した大人向けのものとなっている。 開催日である 5 月 25 日は、これまで平日が続いてきたが、平成 31 年度は休日開催となっており、多くの家族連れの参加が期待される。 		
【市民団体との協働内容】 <ul style="list-style-type: none"> 本事業に多くの子どもが参加し平和について考えることができるよう、子ども向けのリーフレットを作成する。 内容は、現在のリーフレットを子どもにもわかりやすくしたものとする。 		
【協働により期待される効果】 <ul style="list-style-type: none"> 市民目線で事業を企画することによって、より子どもに寄り添った内容の作成が期待できる。 市民と協働することによって、より幅広い市民への啓発へ繋がることが期待できる。 		
	テーマ（事業名）： パラリンピックを契機とした共生社会づくりに関する取組みについて	担当部署： 企画財政部政策室
【現状と課題】 <ul style="list-style-type: none"> 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、市内の気運を更に醸成することが求められている。 パラリンピックへの関心を高めるとともに、共生社会の実現に向けた取組みを推進することが課題である。 市民団体等と行政が協働する等、地域が一体となって取組みを推進していくことが課題である。 		
【市民団体との協働内容】 <p>次の事例にあげる事業を提案団体が企画運営し、市は負担金を支出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①障がいやパラスポーツ等の体験事業 ②その他、パラリンピックへの関心を高める事業 		
【協働により期待される効果】 <ul style="list-style-type: none"> 市民（団体）が持つノウハウや人脈を活用した創意工夫のある取組みが期待できる。 市民と行政が協働により実施することで、地域の一体感を醸成することが期待できる。 地域の人材育成等、レガシー創出が期待できる。 		

	<p>テーマ（事業名）： 出生届記念品等の作成</p>	<p>担当部署： 市民生活部市民課</p>
<p>【現状と課題】</p> <p>従来、戸籍届出は届書を提出してしまうと、届出人の手元には特に何も残らないため、とても事務的なものとなっていた。しかしながら、近年は戸籍届出を1つのイベントとして捉える市民も増え、届出を盛り上げるため、独自の戸籍届書を製作、販売する民間業者も増えてきている。自治体においても、戸籍届出をシティセールスの絶好の場と捉え、オリジナル戸籍届書を製作し、地域活性化を図っている自治体が急増している。</p> <p>そのような中、出生届出に関しては、「命名」は親から子どもへの一番初めの、そして一番長く使用するプレゼントであるにもかかわらず、婚姻届出に比べ、手続き上や法律的な制約も多いため、婚姻届出ほどはこだわらない人が多いのが現状である。</p>		
<p>【市民団体との協働内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・狛江市で出生届を提出することが、思い出深く心にも形にも残るよう、台紙などの作成を行う。 ・どのようなものであれば、記念になり親しみ深いものとなるのか、協働団体と企画する。 ・協働団体の活動のPR等ができるような工夫を行う。 		
<p>【協働により期待される効果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親目線でのアイデアを市民団体から広く募ることにより、自治体だけでは考えられない発想を得ることができる。 ・狛江市に出生届を提出することに付加価値が生まれる。 ・市民協働で出生届記念品を製作している自治体はあまりないため、話題となり狛江市をアピールすることができる。 ・この取組みをすることで、団体の名称や事業を子育て世代に知ってもらうことができ、また、団体が実施する子育て支援事業へ参加してもらうことで、活動する仲間を増やしたり活動に広がりを持たせることができる。 		
3		